

野村誠 & 近藤浩平 & Ross Carey

ポータブル・コンチェルト

持ち運びできる協奏曲の世界

企画:野村誠、近藤浩平 協賛:TOA 株式会社 制作協力:株式会社ジーベック



ロス・ケリー(Ross Carey):ヴァイオリンと打楽器の為の協奏曲 (世界初演)

近藤浩平:ヴィオラと鍵盤ハーモニカと打楽器の為の協奏曲 (世界初演)

近藤浩平:ヴァイオリンと打楽器の為の協奏曲 (再演)

野村誠:ヴァイオリンと打楽器の為の協奏曲 (世界初演)

+ ロス・ケリー ピアノミニリサイタル

ヴァイオリン&ヴィオラ:中島久美

打楽器、鍵盤ハーモニカ:片岡祐介、駿田千佳、野村誠

ピアノ:ロス・ケリー

2012年1月21日(土)17時開演 (16時30分開場)

ジーベックホール(神戸市中央区港島中町 7-2-1)

入場料:1000円 申し込み、問い合わせ:R5656m@aol.com (近藤)TEL・FAX 0798-54-5006

野村 誠(のむら まこと、1968年 -)8歳より作曲を始める。92年に、自身のバンド「プーフー」で、Epic/Sony RecordsよりCDデビュー。その後、イギリス・ヨーク大学大学院で学ぶ。第1回アサヒビール芸術賞、JCC ART AWARDSの現代音楽部門最優秀賞などを受賞。作曲活動は、オーケストラ、室内楽、ガムラン、和楽器など幅広く、お年寄りや子どもなどとの共同作曲作品もある。著書に「路上日記」(ペヨトル工房)、「即興演奏ってどうやるの」(あおぞら音楽社)、CDに「せみ」(Steinhand)、「INTERMEZZO」(Airplanelabel)、「しょうぎ交響曲の誕生」など。鍵盤ハーモニカのアンサンブル「P-ブロッ」での演奏活動、ピアノなどによる即興演奏なども行う。05年はインドネシアでタイと日本との3カ国アートプロジェクトをプロデュースした。「あいのて」(NHK教育・番組)監修、「赤のあいのてさん」として出演。

近藤浩平(こんどう こうへい 1965年-)関西学院大学文学部美学科にて畑道也氏に音楽学を学ぶ。作曲は独学。2008年日本の音楽展・作曲賞入選。2010年ベルリン・ドイツ・オペラ<Klang der Welt Ostasien(世界の音・東アジア)>作曲コンクール第2位(室内楽)。2006年にはピアノ協奏曲が福村麻矢氏の独奏、パオロ・フェッラーラ氏指揮の関西フィルハーモニー管弦楽団によって初演された。江森國友氏、森永かず子氏の詩による歌曲や、野村誠氏の委嘱による鍵盤ハーモニカの為の作品などもある。作品はマザーアース、日本作曲家協議会などから出版されている。日本作曲家協議会会員、日本現代音楽協会会員。兵庫県宝塚市在住。山や自然に関わる作品が多い。

<http://koheikondo.com>

ロス・ケリー(Ross Carey)ニュージーランド生まれ。ピアニストとしては、アジア、環太平洋の作曲家の作品を積極的に取り上げ、インドネシア、シンガポール、ニュージーランド、オーストラリア、香港などの現代音楽祭に出演。「マレーシア作曲家シリーズ」の第1回から関わり、マレーシアの作曲家の新作を数多く初演する。作曲家としては、イギリス、韓国、ウクライナ、カナダ、ブラジル、オーストラリアなど、5つの大陸で作品が上演されており、2010年「アジア作曲家会議」(東京)でも作品が演奏されている。最新作は、作家のメルル・フィンドリーとのコラボレーション。マレー工科大学(UiTM)音楽学部専任講師(作曲/ピアノ)。

